

投機マネーの規制を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成20年9月30日

提出者

3番 橋本 しげき

4番 梶 雅子

武蔵野市議会議長 近藤 和義 殿

投機マネーの規制を求める意見書

アメリカの低所得者層向け住宅ローン（サブプライムローン）の破たんが、先進国の金融市場を揺るがせています。金融市場からあふれ出した投機マネーが、原油市場に流入し、原油価格が5年間で3倍以上に高騰するという異常加熱が続いています。5月に閣議決定された2007年度の「エネルギー白書」では、高騰する原油価格について、原油市場への投機マネーの流入による影響が大きいと指摘しています。

また、投機マネーが、原油市場だけでなく穀物市場にも流入し、食料品にまで値上げの波が押し寄せて、国民の暮らしと営業を直撃しています。

このように、巨額の投機マネーがエネルギーと食料という人間の生存の重要な基盤に深刻な影響を及ぼしていることから、投機マネーの暴走を抑えることは、暮らしを守り、経済を安定させるための国際的な緊急課題です。

よって、武蔵野市議会は国会及び政府に対し、投機マネーの規制を求める国際世論に呼応し、日本政府が積極的な役割を果たすよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成20年 月 日

武蔵野市議会議長 近藤和義

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務・金融大臣

あて